令和8年度 チャレンジやまぐち!

地域貢献賞 受賞

山口市



災害時の小さな声にこたえる「やさしい避難所」づくり

一般社団法人レベルフリー

活動の目的

地域の小さな困りごとに耳を傾け、一緒に解決する仲間を募り、体験や実践を通して形にし、横展開しながら企業や行政を巻き込み、最終的には持続可能なしくみづくりに落とし込んでいくという「入口から出口まで」関わっていく活動がしたいと設立しました。SDGsの「誰一人取り残さない」という理念は防災の現場でも大きな課題であり、災害時に誰もが安心して避難できるよう多くの住民や団体、企業、行政を巻き込んで考えていきます。

これまでの活動内容

災害時に「誰ひとり取り残さない」ために、食物アレルギー、発達障害、外国人、ペット飼育者などの災害弱者がためらうことなく避難できる「やさしい避難所」を増やすことを目的に、当事者と地域住民、専門家や企業、ボランティアを巻き込みながら、より具体的で実践的な研修会やイベントを行っています。

地域防災は、仲間づくり・まちづくりで、どれだけ多くの住民や団体・企業と日頃から話し合える関係がつくれるかだと思います。他業種連携することで、より専門的で説得力のある活動にし、沢山の方を巻き込んでいきたいと思います。その実績を県内だけでなく、「ぼうさいこくたい」に参加してPRし、全国に「やさしい避難所」の輪を広げています。また、今年は初めて被災地での炊き出し支援に行きました。

これからも県内で活動を積み重ね、実際に被災地に出向いて被災者の皆様のお役にたてる団体に成長していきたいです。

活動内容

1 災害時の食物アレルギーを考える



イベントや防災訓練で、食物アレルギーのある方もない方も美味しく食べられる炊き出しをしています。食べられるかどうかの判断材料をわかりやすく掲示する「やさしい炊き出し4か条」を実践することで、地域でもアレルギーを考えた炊き出しが広がってほしいと願っています。今年は、熊本県宇城市に炊出しボランティアに行ってきました。

2 災害時の外国人の避難を考える



技能実習生や留学生として地域で暮らす外国人の防災を地域ぐるみで考える場をつくりたいという思いで始めました。お互いが言葉や文化の違いを理解し、顔見知り以上の関係になることが一番の防災だと考えています。

3 災害時のペット避難を考える



災害時に大切なペットの命を守るため、山口大学獣医学部の先生、動物病院、山口トヨペット、しつけの指導者と一緒に、まずは飼育者自身が具体的な体験研修を通じて、意識と知識、備えを学びます。

4 災害時の避難所での車中泊を考える



様々な事情で避難所の環境に不安があり、やむをえず車中泊を選択するご家族があります。車中泊のメリット・デメリットを学び、車やアウトドアのプロである山口トヨペット及びモンベル山口店と一緒に実践研修をすることで、事情を抱えるご家族が避難所での車中泊を選択できるように考えます。

5 防府市でこども防災士の育成に関わっています



出典：防府市HP

防府市からの委託で、こども防災士養成講座の企画運営を続けています。全3回の受講が必要で、体験学習やワークショップに加え、昨年は危険区域の看板をどこに掲示するかを自分達で歩いて考えるなど、実践研修も多く取り入れています。大学生スタッフも多く参加して、楽しく学びながら次世代の防災リーダーを育てています。